

支え合い新聞



NPO法人 志免地域支え合い互助基金

2021年 3月 第3号

この新聞は、NPO法人志免地域支え合い互助基金が発刊する新聞です。

志免町のなかにある多くの支え合いにスポットをあてる新聞です。

この町に こんなに多くの支え合いがあることを知ることによって心豊かに

安心して生活ができるように！ という祈りを込めて発刊する新聞です。

3ヶ月に一度のペースで発刊してまいります。

みなさま、どうぞよろしくお願い致します。

NPO法人 志免地域支え合い互助基金

理事長 下稲葉 康之

おかげさまで、第3号を
発刊することができました。
今回は、「支え・支えられる」に
ついて、志免東中学校の3年生と
座談会をさせて頂きました。
皆さんが経験した
「支え・支えられ」を教えてください。



(写真撮影の為に一時的にマスクを外しています。)

前列にいるのが、座談会に参加をして下さった5名の志免東中学3年生の皆さんです。

高校に進み、進学や就職で志免町を一時的に離れたとしても、志免町の
ことを忘れないでね。そして、いつの日か、志免町に戻ってきて下さい。

皆さんの未来が、輝かしいことを祈念しています(^^) /

2021年3月9日感謝の日

高校受験を終え、進路が決まり
3日後に卒業式を迎える5人の
志免東中学校3年生及び大坪先生
と、「支え・支えられ」について
座談会を行う機会を頂きました。
唐突なお願いにも関わらず
趣旨をご理解頂き、この場を
準備して頂いた川口校長先生及び
仲村教頭先生には、
心より御礼申し上げます。

新型コロナ、高校受験、卒業式
に新年度..と、とてもお忙しい
中で座談会を開催して頂いたこと
に対し、地域と共に..を
模索している志免東中学校さんの
心意気を感じました。
座談会で経験談やご意見を
頂いた学生の皆さん、
ありがとうございました。



「こんにちは。今日はよろしくお願いします(^^)」

ドアを開けると、そこには笑顔いっぱいであげてくれる5人の中学生がいた。

今回、志免町立志免東中学校川口校長先生、仲村教頭先生、大坪先生のご理解とご協力のもと、進路が決まり、卒業を目前に控えている5人の女学生の皆さんと『支え・支えられ 助け・助けられ』をテーマにした座談会を開催させて頂くことが出来ました。

2020年の秋、志免町立志免中学校、志免東中学校のご理解とご協力のもと、志免町で暮らす中学生の皆さんに

『志免地域支え合い互助基金シンボルマーク』

を募集をしました。その際、応募を頂いた作品に込めた想いを读ませて頂く中で、志免町に対する“郷土愛”があり“支え・支えられ”に対する認識が深いことがわかり、志免町が高齢化のピークを迎える時期を懸命に支える年代の皆さまとお話してみたいと想ったことが座談会を起案するきっかけでした。

支え合い新聞 第3号は、この座談会の模様をお伝えします。どうぞ、最後までお付き合いください。

2021年3月9日火曜日、座談会に参加をするメンバー諸氏の表情やお名前がわかるようなテーブル配置により参加者の緊張が伝わるなかで座談会が始まりました。

ここで、参加をして下さった方を紹介します。

前列 座談会当日志免東中学3年生だった皆さんです
左から 井口美琴さん 山本奈朋さん、高島愛花さん
井上里香さん、今村佳那子さん。

後列 左から

(株)富士正醤油醸造元 代表取締役 藤 浩太郎さん
当法人事務局長下稲葉さん、鷹尾、志免東中学教諭
大坪太先生 です。

当日は、志免東中学校さんが万全なコロナ対策を講じて下さったおかげで、安心して開催できました。

まず最初に自己紹介を行い、名前とその名がついた由来を各人が紹介します。会場の雰囲気徐徐に和み始め大坪先生が『太』の名の由来をお話頂いた後から一気に笑顔が増え始めました(^^)♪

次に少しの時間を頂き、司会進行役の鷹尾がNPO法人志免地域支え合い互助基金の設立に至る時代背景についてお話しをさせて頂き、「私は支えて貰っていたんだ..」と実感した経験談を話して頂きました。

※敬称略で記載をさせて頂きます。

(山本) 毎朝、通学路に立って交通誘導をして下さる方々がいます。晴れの日も.. 雨の日も.. 冬の寒い日も.. そして、夏の暑い日も通学路に立って私達や小学生の誘導をして下さいます。振り返ると、支えて貰っていたんだな.. と、改めて感じます。 **交通誘導をして頂いた方々の顔やいつてらっしゃいの言葉を思い出します。**

(高島) 希望校への受験のため塾に通っていた私は、初めて経験する受験に対し、不安と緊張の日々を過ごしていました。私は「助けて・・・」と言えなかった。願書や面接はどうしたらいいんだろう.. 自分で解決すべきな



のですがわからず、**人に教えて欲しいという気持ちがあるけど言えない..と1人で悩み苦しんでいた時、塾の先生が声をかけてきて下さったお陰で相談ができ、本番当日まで支えてくださいました。**

(井口) 私の家の近くに公園があります。
その公園では2歳～小学生までの年代が遊んでいます。
ある時その公園を観たら、ボランティアの人達が子供達が安全に遊べるようにと掃除をして下さっていたのです。
雑草をとり、石を公園の端に寄せて下さっていました。
その行為を観て、素晴らしいな..と感じました。

【井口さん】



(井上) 私は生徒会の役をさせて頂きました。その途中、1人で悩んでいた時がありました。なかなか友達に打ち明けることができず、苦しい状況の時に友人が気付いてくれ、相談に乗ってくれたのです。その時に助けて貰った.. **ありがとう.. そう心から想いました。**

(今村) 私も生徒会の学習委員長をさせて頂きました。みんなの前に立ち、話をする事が上手にできず、どうしたらいいんだろう?と悩んでいた時です。そんな私をみた副委員長が「〇〇でいいんじゃない」とアドバイスをくれたのです。**そのお陰もあって無事に委員長職を勤める事が出来ました。**

(司会) 皆さんのお話を伺い、自分が困っている時にその様子を観てくれていて、状況を察し支えて貰った時に、ありがたい.. や 支えて貰っているんだな.. と感じている様に思います。
山本さん、この様な体験はありますか?

(山本) そうですね.. 私も高島さんと同じ塾に通っています。数学の問題で私にわからない時、それを察した塾の先生が優しくわからない箇所を聴いて下さり、問題を解くヒントを教えてくださいました。そして、わからない時はいつでも相談をしてくれていいんだよ。と優しく仰って下さいます。その時に、**いつも見守って頂いているんだな..**と思います。

(井口) 私はクラスの給食委員をしています。給食時は短時間で準備をするし混みあうので人の手が欲しいな..と思うことがあります。そんな時、いつもクラスメイトが**手伝うよ..と声をかけてくれ助けてくれます。**

(今村) そうですね.. 察してくれる..という事でないかもしれませんが、友人と一緒にいて問題を解いたりしている時に私が同じ問題で詰まっていると、**一緒に考えよう..一緒に解いてみよう..**と言ってくれる事がよくあります。



【今村さん】

(司会) 学校生活の中で日頃から声をかけあうことができているのですね。そういう環境があるのかな..
以前、大人の方達と『助け・助けられゲーム』をした事がありました。その時に聞いたのは、自分が人のお手伝いをする事にはさして抵抗はない。しかし、助けて!とお願いするのには抵抗があるし、なかなか出来ない。と言われていました。大坪先生の場合は如何ですか?



【大坪先生】

(大坪) そうですね.. 私も助けて!とは言えないですね。むしろ自分に与えて頂いたことはもがき苦しみながら自分で解決をしなくちゃ.. と思いながらやるからですね..。しかしそんな時、生徒が先生..と何気なく声をかけてくれ手伝ってくれると嬉しいのです。こういう経験をするので職員室でも誰か先生が困っていないか.. いれば声をかけよう意識をしています。**やはり、こちらから声をかけると話しやすいだろうと思いますので..互いに声を掛け合うことを意識しながら過ごしていますがまだまだ出来ていません。**

(司会) 私たち医療介護で働くモノは、観る事。そして変化を感じる事が大きな仕事の1つです。そして、その方とコミュニケーションをとり、いつもとの違いを確認したり、把握をしていきます。それなくして、見て護る事ができないのです。志免東中さんではまさにその環境があるように思いますが、意識をされているのですか？山本さん、如何ですか？

(山本) そうですね.. 自分が支える事はどんな小さなことでもやろうと想っているのですが、意識していない時は周りに目がいけないですね.. でも意識していたらそれが出来るし.. やっぱり、意識が足りないですかね.. (笑)

やっぱり、小さなところから意識してお互い助け合う事が大事だと思います。



【山本さん】

(司会) はい。ありがとうございます。今までは、学校内でのことを話して頂きました。次に伺いたいのは、ご近所では.. 地域では.. についてです。皆さん、ご近所さんとは如何ですか？

(今村) 以前、洗濯物を干している時、雨が降ってきたのです。我が家は雨が降ってきた事に気づきませんでした。すると、インターホン越しにご近所の方が「雨が降っているから洗濯物は取り込んだ方が良いでしょう」と**親切に教えて下さった事がありました。すごく嬉しくありがたかったです。**

(井上) バスで席を譲るようにしています。少し恥ずかしいのですが、席を譲り「ありがとう」って言って頂いた時は気持ちが良いので、**勇気を出して声をかけ譲ることにしています。**

(井口) 夏になると近所の小学生たちが遊んでいて帽子を忘れて家に帰ることがあります。そんな時、**困っているだろうなーと思うので**、家がわかる人の場合は家に持って行き、家のわからない人の帽子は、探しに来た時に見えやすい場所に帽子を置くようにしています。

(高島) ご近所の方々と仲が良いので、小学生の子達と遊んだりします。その子達が遊んでいる時に駐車場を走ったり、道路に出てたり、用水路の方に行ったりします。車にひかれたり、用水路に落ちたりしない様にするため**見守りながら遊んでいます。**

(山本) おばあちゃん家に行っていて夜帰ってきたら道路にゴミが散らかっていたので、父と一緒に**ご近所に迷惑をかけないためにゴミ拾いをした事がありました。**

(司会) メジャーリーグに大谷翔平という選手がいます。彼は、道にゴミが落ちているのを視たら、徳が落ちていると想い拾うらしいのです。私も真似をしようと想いチャレンジをしてみましたが、なかなかできません。難しい。皆さんのお話を聴いていたら、だんだん穴があったら入りたいような気持ちになってきました。皆さんはやはり実践者ですね。さすが、この場でお話をして頂くべき人達ですね(^^♪

それでは次に、支えてください！ 助けてください！ それを言いたいけど言えない.. そういう経験についてお話を頂けますか？

(今村) 私が生徒会の学習委員長に立候補する時、推薦応援者が必要で、名前を書いてもらう必要があるのですが、それをなかなかお願いできませんでした。誰かが気を遣って書くよ(^^)/と言ってくれないかなー という経験があります。

そこで今村さんはどうしましたか？

(今村) **思いきって、仲の良い友達に書いてくれん.と頼んでみました。**すると、その話が周りにも聞こえたのか、書くよ(^^)/頑張ってるね(^^)/と言って書いてくれたのです。

勇気がいったでしょうね。良く言えたと思います。
ありがとうございました。続いて井上さん、お願いします。

(井上) 私は生徒会の文化委員長をしています。
委員長になって間もない頃、放課後に1人で残って遅くまで残って作業をした事がありました。明日が締め切りというのにまだ全然終わっていない時、**誰かに助けて欲しいけど誰にも言えなかったのです。しかし生徒会のメンバーの事を段々と知っていく中で**総務の人達に「手伝ってくれん」と声をかけられるようになっていきました。そういう事が言える様になったので、少しは成長できているのかな？と思います。

何かきっかけがあったのですか？

(井上) 生徒会メンバーは、**最初の頃はそんなに仲が良くなかったのですが、一緒に活動をしたり、気持ちがわかりあえたりする中で繋がりができ、次第に辛い事や相談事を気軽に話せる仲になりました。**

気心が知れたのですね(^^♪

ありがとうございます。では井口さん、如何でしょうか？

(井口) 部活で副部長をしていました。副部長だから全体を観ないといけないのですが、新1年生が入部してきたばかりの時は、その子を中心に観ないといけないのでいろいろ大変で、ずーと他の人に手伝ってと言えないままだったのですが、他の人がその様子を観て感じ取ってくれ、声をかけてくれたり支えてくれたから1年間、副部長ができました。

ありがたかったですね。では高島さんは如何でしょうか？



【今村さん】

【井上さん】



【井上さん】

(高島) 友人とトラブルになった後、自分から話しかけることがズーと出来なくて、すごく悩んでいました。しかし、別の友人に話を聞いてもらって、繋いでもらったりもして貰い、友達と仲直りが出来ました。

自信になりましたか？

(高島) 自信というか、**悩んでいるだけじゃなくて行動を興す事で繋がっていったと思いました。**

(司会) この話、みんなに聞いてもらいたいですね.. ありがとうございます。

山本さんは如何でしょう？

(山本) **私は、助けて貰うのを待つのではなく自分から助けて下さいと言います。**時間をもったいないと思うのです(^^♪
いつまでも悩んでいると時間だけが過ぎて行くので、助けて欲しい時は**お互い助けて..と言いながら付き合っていくことで、段々と仲も深まっていく**から言う様にしています。
こうすれば悩んでいる時間を有効活用できると思います。

(司会)(^^♪ 山本さんは、昔からその考えでしたか？

(山本) そうですね。**助けて欲しい時は助けて!という事は、自分の中で当たり前だと想っています。**

(司会) 何か師匠の様な感じですね(^^♪ (笑)

叔父さんなんか、結構うじうじしているんですよ.. **変なプライドが邪魔して、弱いとこを見せたくない..と**

想ってしまうんです。山本さんみたいにできたらいいな～～



【高島さん】



【山本師匠】



では質問を変えます。

これからの時代、認知症の方が増えると言われていました。

一方、認知症の方が入居できる住宅はその数に応じて増えるかというところではありません。まさに反比例の関係です。

では認知症の方はどこで生活するのか？

その方が長年暮らしてきた地域の中で生活することになります。

そこで、皆さんがお住いの地域で認知症の方を見かけたことがありますか？(2人から手が上がる)

その方を地域で見かけた時、どの様な行動をしましたか？

その方を地域で見かけた時、どの様な行動をしましたか？

(井上) 友人のお祖母ちゃんが認知症です。友人宅に遊びに行った時にお祖母ちゃんと会います。その際、繰り返し同じことを聞かれました。その時は、**毎回お祖母ちゃんの質問を受けいれ、やさしくお話をする様に心がけています。**

(高島) 私のお祖母ちゃんは認知症です。今は病院に入院していて会えないけど、会えた時は、最初の5分位は誰が来たのかわかっていません。私は、その忘れてる事にショックを受けるのですが、**思い出してくれたらいいなと想いながら昔の話や誰かの話をして思い出してもらう様に接しています。**

(司会) ありがとうございます。

今後、もし皆様のご近所で、道がわからなくて困っている人や不安そうにしているな..と思う人を見かけたりした時、皆さんはどうしますか？

(司会) 私の母は認知症です。以前、同居をしていた時、いつもご近所さんや自治会の方に助けて貰っていました。母は、夕方になると犬を連れて散歩に出かけます。すると、途中で家の方向がわからなくなるのです。そんな母を観て、学校帰りの小学生が「あのおばあちゃん何か様子がおかしい」と、近所で知り合いの叔母さんに伝え、その方が母に声をかけて下さり家に帰れた事が多々ありました。



【高島さん】

もし皆さんがその様な方を見かけた時、声をかけますか？

(今村) そうですね.. **知らない人だから声をかけるのは怖いです。もし、その方が普通にお散歩をしているとしたら怒られたりするし、申し訳なく思います。**

(井上) 私も**恐怖心**があつて、もし普通に歩いているだけに**認知症と想つて声をかけたりした時、相手の方の気持ちを考えたらいい気はしない**と思います。**だから声をかけるのは難しい**と思います。

(井口) 私は人見知りなので、慣れていない人に声をかけるのは**抵抗**があります。
今日はどうですか？ ちょっと緊張しています(^^♪



(高島) 私も人見知りなので声をかけるのは**難しい**かな..と思います。

(山本) 朝、学校に行っている時に**知らない人には挨拶はしているのですが、声をかけるとなると勇気が出ないかな..**って思います。

(司会) 皆さん、一所懸命にイメージをして頂きありがとうございます。知らない人に声をかけるという行為。なかなか勇気がでないですね。しかし、今後、このような方が増える可能性があるのです。これからは、今より少しそのことを意識に置き、もしそういう場面に遭遇したら..もイメージして過ごして頂ければ嬉しいです。因みに、私たちの基金では、「やさしい 声かけ訓練」には助成をさせて頂いています。皆さんが高校に進学し、お友達と一緒に声かけ訓練をする場合はいつでもお声かけください。こういう訓練は、お友達とコミュニケーションをとる勉強にもなりますよ。

(司会) では残り10分となりました。最後に、皆さんから今後の抱負..もしくは今日の感想を伺いたと思います。では山本さん、お願いします。



(山本) 知らない人とコミュニケーションをとることがあまりできていないな—と想ったので、自分から声をかけるぶんにはかけようと思うし、**周りで困っている人がいた時は、どうしたと?と声をかけ、人助けができたらいいなと改めて思いました。**

(司会) 頼もしい存在を1人ゲットしました!(拍手)
志免町のことを忘れず、ずーと思い続けて下さいね。
では大坪先生お願いします。(笑)



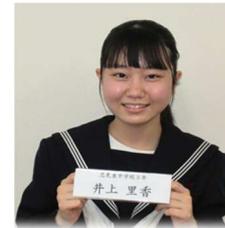
(大坪) 昔は地域の子供達と一緒に遊んでいたし、地域のおじちゃん・おばちゃん達にうちの子供達をよろしくねと頼めたのですが、今はそういう関係性の糸が細くなりました。子供達を地域にお返りする事が出来ていなか、今日のお話を受け止め、**いざその時..!という時に子供達ができるよう、日頃の授業でやっておく必要**を感じました。ありがとうございました。

では人見知りの高島さん(笑) 高校に入ったら中学と違う部活に入り、**新しい挑戦をすると決めている**ので、経験者の人に教えて貰ったり、勉強面でも将来就きたい仕事があるので夢に向かってわからない時は自分から声をかけて教えてもらったりして頑張りたいです。



(井口) **支え合い・助け合いの関係は、相手を知ることによりやすい関係になるので、地域では最初からは出来ないと思います。だから挨拶から始め、話しやすい空気を創つたらいいと思いました。**

(井上) **高校ではボランティア活動で頑張りたい**と想っていて、今日学んだことを活かして**誰かを支えることができたらいいな**と思います。



(今村) 私は、今までみんなで協力しながらボランティアをする事に価値を感じ、地域の活動を行ってきました。進学を前に、須恵高校に地域連携部があると聴きました。そこでは地域の方々と地域住民の方々のためになる活動を行っているそうです。私はその須恵高校に進学し、**人の為に.. 私の少しの自信の為に.. ボランティア活動を続けていこうと決めています。**
今日は、ありがとうございました。

(司会) こちらこそ、ありがとうございました。大変勉強になりました。最後に、オブザーバーで参加をされた2名の方から今日の感想を伺いたと思います。

(藤) 今日は、皆さんが**素晴らしい想いをもって学校生活をおくっている**様子を拝見して、**本当に嬉しく**想いました。私は50歳です。もうすぐ人のお世話になる年齢になります。**人のお世話になる前に、人のお世話をたくさんしたいと想っています。**皆さん、共に活動をしましょう!

(下稲葉) **誰かの為にという想いで行動する事は、幸せを与えている様で貰っていると想います。**
今後、皆さんが地域の人や地域の事に興味をもってくれると色々な人が元気になります。どうぞ、地域に意識を少し向けて頂ければと思います。今日は、皆さんと出会えて元気を貰いました。ありがとうございます。

最後に、仲村教頭先生 お願いします。

【写真を撮っている方が仲村先生です】

(仲村) 今日、後ろで子供達の話の聴いていまして、

この子供達のことを誇りに思いました。

この子供達なら、高校や地域の皆さんとの掛け橋になってくれると思いますし、きっときっと、幸せになってくれると想いました。今日は、ありがとうございました。

約1時間の楽しい座談会が終わり、最後はみんなで記念写真を撮影しました。

今まで、「支え・支えられる」については、大人の方々と一緒に話し合う機会がありました。

その中で疑問として湧いてきたのは、2040年、志免町に高齢化のピークがやってくる頃は「支え・支えられる」の文化が、このまま進めていて出来るのだろうか？ 誰かが足りないのではないか？ というものでした。

一昨年に行った別府3町内会「やさしい声かけ訓練」では、小学生が認知症役の高齢者の方に声をかけるというぶっつけ本番のチャレンジをして頂きました。その際子供達は、声をかけること、コミュニケーションをとることの難しさを学び、日頃から顔見知りになる必要性や挨拶が大切だという事を学びました。

そして今日、この座談会に参加をされた5人の中学生の皆さんは、既にその答えを持っていて、学校内で訓練をし、確実に成長をしている事がわかりました。

素直に・素直に・素直に生きる学生さん達と共にした時間で、最後に仲村教頭先生が仰った「誇りに思う」の気持ちがわかった様な気がしました。

それを私流に言いますと、「未来への明るい光と希望」になります。

今後は、将来の志免町を背負う素直な・素直な・素直な学生さん達も含めた多世代で、志免町にその文化をつくる活動を地道に地道に続けて行こう！と、心から想います。

参加をして頂いた皆さま方の今後のご活躍とご多幸を心から祈念したい！と思えます。

そして、共にこの互助文化を、皆さん方の故郷であるこの志免町につくりましょう！

微力ながら私達もがんばります。



● 志免東中学校内に掲示されていた基本姿勢

- ・挨拶
- ・自問清掃
- ・意思表示





『やさしい声かけ訓練』

2019年11月30日、別府3町内会にて認知症の方を対象とした『やさしい声かけ訓練』が行われました。2020年2月22日、この実施報告会を町民センターの視聴覚室で行う予定でしたがその3日前に福岡市で新型コロナウイルスに感染された方が出たとのニュースにより、この会を延期をする事になりました。

この事態がなかなか終息しない今、いつ皆さまにご報告ができるかどうかわかりませんので、この度、この紙面をお借りして、簡易的ではございますがご報告をさせていただきます。

この訓練は、道に迷っている役割の方に、学校帰りの小学生が声をかけ、公民館にお連れする、という設定です。声をかけられた方は、子供達の声かけに納得したら「ありがとうカード」を笑顔で渡す、というルールになっています。これらは、事前訓練なしのぶっつけ本番で行いました。

- 道に迷っている役割の方 3チーム
※チーム構成 道に迷った役の方、専門職の方、写真撮影の方
- 声をかける役割の方 2チーム
※小学生×2チーム+お母さん達+町内会・専門職の方
- 本部
町内会長ほか..
※昼食をつくってくれる方もいらっしゃいました。

晴天の下、藤田町内会長を訓練本部長とし、総勢38名で訓練を行いました。

8時30分、財部実行委員長を中心とした実行委員と参加者が、別府3公民館に集合します。

藤田本部長の訓示の後、準備をしながら受付開始。

9時30分より、声をかけて頂く側の方に説明を行い60分間町内会内を歩く為、準備体操を行いました。



そして、いよいよ訓練開始です。子供達が知らない大人に声をかけています。



声をかける子供達。苦戦をしています。



助太刀に入るお母さん達。
必死に説得しています。



声をかける子供達。苦戦をしています。



どう声をかけたらいいの.. 悩む子供達..



あのー.. 何とか声をかけるが..



またもやお母さん、助太刀に..



ついに、ありがとうカード.. ゲットしました(^^) /



やったー(^^) / 通じたぞー(^^) / 嬉しい(^^) /



知らない人に声をかけるのは怖い。とっても勇気がある。でも声を掛けないと.. 日頃から挨拶や顔見知りになる為の活動をしておく大切さを感じました。今後の課題は、町内会内や町内会同士の緊急連絡網の整備です。顔見知りになる事の他に、いざという時の連絡網の整備を急ぐ必要を感じる訓練になりました。

